

一般社団法人 大学コンソーシアムひょうご神戸
2024年度 第5回 キャリア委員会
議事録

開催日時：2025年2月12日（水）15:00～16:00

開催場所：兵庫国際交流会館Nadacom station

兵庫県神戸市中央区脇浜町1-2-8

出席校（委員、代理）：13校

◎関西学院大学・関西学院短期大学（松本、山口）、
○関西福祉大学（未政）、○神戸国際大学（占部）、
芦屋大学（中村）、関西国際大学（川越）、甲南大学（天羽）、
神戸大学（田中）、神戸海星女子学院大学（田辺）、神戸学院大学（住谷）、
神戸松蔭女子学院大学（山田）、神戸親和大学（寛安）、流通科学大学（屋久）
※◎は委員長校、○は副委員長校 ※敬称略

欠席校：11校

○甲南女子大学、大手前大学・大手前短期大学、神戸市外国語大学、神戸常盤大学、
園田学園女子大学・園田学園女子大学短期大学部、宝塚医療大学、兵庫大学・兵庫大学短期大学部、
兵庫県立大学

事務局：関西学院大学（永野）

大学コンソーシアムひょうご神戸（鈴木、市川、園田）

I. 協議事項

1. 2025年度キャリア委員会 事業計画・予算（案）

（資料1）

- ①県内大学生の地元就職促進プロジェクト
 - ・大学連携組織を活用した県内大学生の地元企業促進プロジェクト
 - ・「尼崎市」大学生等向けオープンカンパニー事業
- ②県内企業・団体等の魅力を情報発信
- ③留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム
 - ・ひょうご留学生インターンシップ
 - ・「尼崎市」外国人留学生向けインターンシップ
 - ・外国人向け合同企業説明会
 - ・『国際協力機関リレーインターンシップ』
- ④外国人留学生採用ワンストップ支援事業

II. 懇談事項

1. 合同模擬グループディスカッション・面接大作戦の今後の実施方法について
2. 全国コンソーシアム研究交流フォーラムの企画について
3. 兵庫県総務部教育課 受託事業の新規提案について

（資料2）

（資料3）

III. 連絡・調整事項

1. 2024年度のキャリア委員会開催予定と主な議題について
第5回委員会 3月:2024年度 事業報告・決算(案)

以上

<資料一覧>

- 資料1-1 : 2025年度事業計画・予算(案)及び2024年度事業報告・決算(案)の作成について(依頼)
- 資料1-2 : 2025年度キャリア委員会 事業計画・予算【鑑】(案)について
- 資料1-3 : 尼崎市経済環境局経済部しごと支援課受託事業「令和7年度インターンシップ等推進事業」について
- 資料2-1 : 合同模擬グループディスカッション・面接大作戦の今後の実施方法について
- 資料2-2 : 合同模擬グループディスカッション・面接大作戦実施報告書
- 資料3 : 第22回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムについて
(参考資料1) 2024年度 事業委員会 自己評価に対する改善提案
(参考資料2) 2025年度 事業委員会事業計画詳細案

I. 協議事項

1. 2025年度キャリア委員会 事業計画・予算(案)について

鈴木次長より資料1に基づいて、2025年度キャリア委員会 事業計画・予算(案)について説明があり、原案通り承認された。新規事業として、尼崎市経済環境局経済部しごと支援課が委託する「大学生等向けオープンカンパニー事業」へ公募する旨の説明もあった。

- ①県内大学生の地元就職促進プロジェクト
 - ・大学連携組織を活用した県内大学生の地元企業促進プロジェクト
 - ・「尼崎市」大学生等向けオープンカンパニー事業
- ②県内企業・団体等の魅力を情報発信
- ③留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム
 - ・ひょうご留学生インターンシップ
 - ・「尼崎市」外国人留学生向けインターンシップ
 - ・外国人向け合同企業説明会
 - ・『国際協力機関リレーインターンシップ』
- ④外国人留学生採用ワンストップ支援事業

II. 懇談事項

1. 合同模擬グループディスカッション・面接大作戦の今後の実施方法について

市川事務局員より、資料2に基づき、合同模擬グループディスカッション・面接大作戦の今後の実施方法について説明があった。事後アンケートの学生ニーズと、就職活動の早期化・長期化を踏まえ、開催時期の見直しや、対象とする学生について、各委員の意見を伺い、来年度事業計画で詳細を考えることとなった。

<頂いたご意見>

- ・10~12月に実施するとして、企業側の協力は得られそうか？
- ・12月であれば、後期試験も共通テストも関係ないため、よいのではないか。
- ・10月に学内で業界研究をしたが、学生の参加は芳しくなかった。9月は学生がインターンに参加するため、10月の方がよいのではないか。「インターン選考を突破できるイベント」として事業の訴え方を変えてはどうか。
- ・グループディスカッションを実施していない企業がフィードバックするケースがあり、学生はグループディスカッションをしている企業のフィードバックを求めている。
- ・春は学生が集まるが、秋は集まらない。春に実施する可能性はあるか？
- ・グループディスカッションは、6月までのニーズになる。夏休みは学生がインターンをする。参加企業の採用時期、認知度高い企業とそうでない企業で求める時期も変わってくる。
- ・参加学生にどんなニーズがあるのか(事業の独自性)をもっと打ち出すべき。
- ・キャンセルが多い理由として、早期選考という背景もあるのではないか。
- ・誰のための、何を学べるイベントなのかわかりにくい。
- ・採用直結ではないといいつつ、学内説明会で出会い、コンソのイベントでも出会えば、学生の印象は良くなる。学生もメリットを感じる。教育目的といいつつ、採用に有利になる側面もあるのではと思う。
- ・官公庁の参加を受け付けてはどうか。公務員はグループディスカッションをする
- ・公務員と民間のグループディスカッションは、まったく別ものである
- ・自治体への参加を呼び掛ける。尼崎市とかどうか。

・グループディスカッションと面接を1日でやるのはハードだ。公務員と民間で分けてやってはどうか。

2. 全国コンソーシアム研究交流フォーラムの企画について

鈴木次長より、資料3に基づき、全国コンソーシアム研究交流フォーラムの企画について説明があった。引き続き、意見を事務局で募ることとなった。

<主な意見>

- ・企業側にはメリットがあるが、キャリア職員にとってのメリットが見えない
- ・秋は、商議所、自治体、地域と多くの情報交換会があり、全国コンソに入れこむことに疑問がある。
- ・企業の人事担当者を対象に、大学教職員が「学生のリアル」と称して、学生気質について話すのはどうか。

3. 兵庫県総務部教育課 受託事業の新規提案について

・懇談事項1や2で出た意見を参考に、来年度事業計画で詳細を考えることとなった。

Ⅲ. 連絡・調整事項

1. 2024年度キャリア委員会開催予定と主な議題について

事務局より2024年度の第6回キャリア委員会開催予定と主な議題について案内があった。

以上をもって、第5回キャリア委員会の議事は終了した。

以上